

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0033
 住 所 東京都中央区新川一丁目17番24号
 氏 名 味の素物流株式会社
 代表取締役社長 田中 宏幸 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素物流株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島17番地10		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	食品を主体とする物流サービス		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,801	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	安全・品質・環境部
		所在地	東京都中央区新川一丁目17番24号
		電話番号	03-5542-3637
		FAX番号	03-3555-3161
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

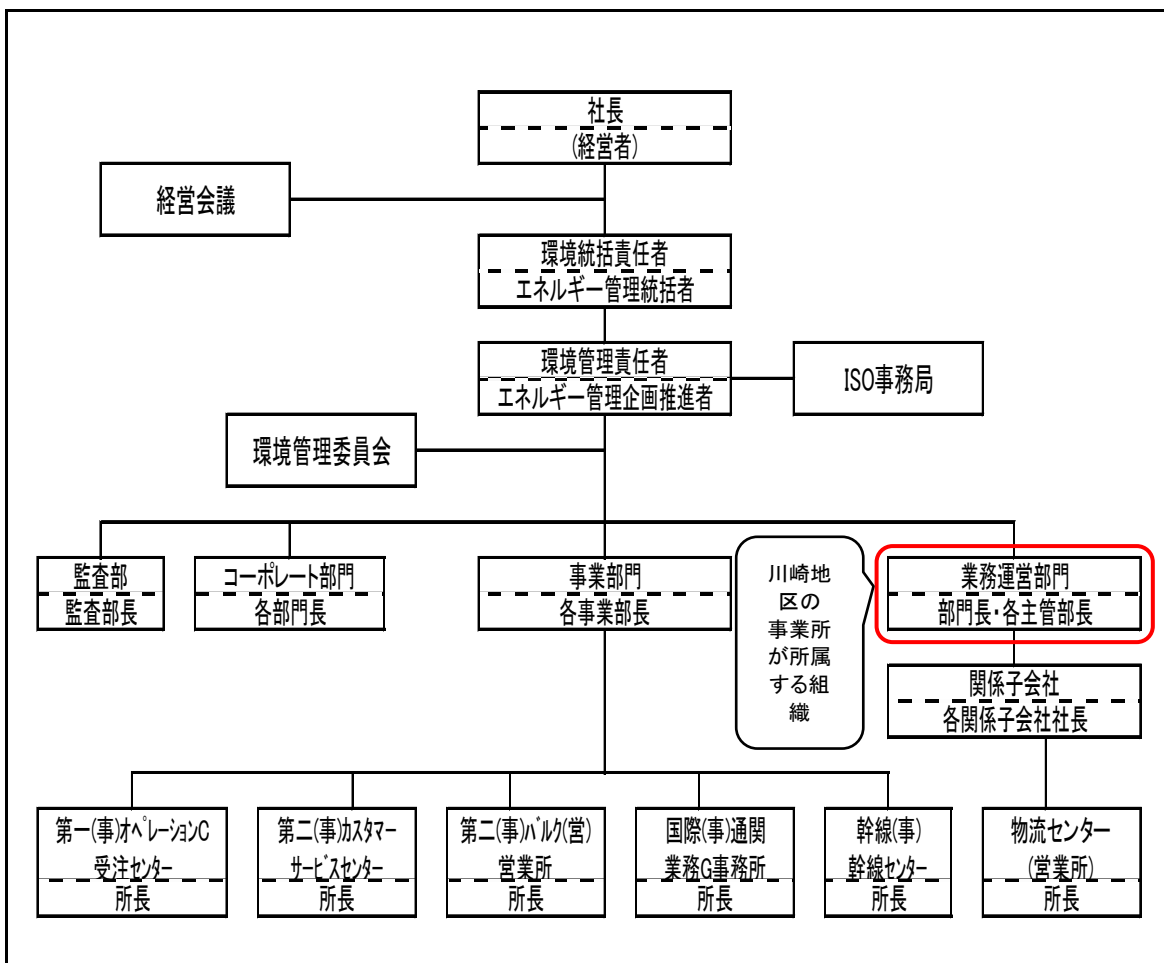
事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

川崎地区の事業所を含む味の素物流グループ全体の環境方針として、以下に定めている。

1. CO2を中心とした地球環境への負荷の低減に努めます。
2. 資源を大切にすることを原点に、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 環境に関わる国・地方自治体の法規制及びその他の当社が同意する要求事項を遵守します。
4. 環境マネジメントシステムを構築、文書化して継続的改善及び汚染の予防を推進します。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) 3,251 (調) 3,244	t-CO ₂	(実) 2,307 t-CO ₂
削減率	(実) 29.0	%	削減量 (実) 944 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積	単 位	t-CO ₂ /m ²
基準年度の値	0.07696	目標年度の値	0.08427
削減率	-9.5	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

川崎地区について、全社の考え方に基づき、年平均でCO₂排出量原単位1%の削減を目標とする。

- ・ エネルギーを使用する設備の管理標準を設定し、運用の徹底を図る
- ・ エネルギー使用量の定期的な測定・管理と使用量変化の関係分析を実施する

基準年度は東扇島第一低温物流センター、東扇島第二低温物流センターの2事業所であったが、東扇島第二低温物流センターが平成25年3月末に移転しEPC管理対象外となったため、平成24年度の東扇島第一低温物流センターの実績に対して年平均でCO₂排出量原単位1%の削減を目標とする。

○CO₂排出量：2,307t-CO₂(平成27年度目標) = 2,378t-CO₂(平成24年実績) × 0.97(3年間で3%削減)

○CO₂排出量原単位：0.08427t-CO₂/m²(平成27年度目標) = 0.08688t-CO₂/m²(平成24年実績) × 0.97(3年間で3%削減)

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

省エネルギー法(事業者単位規制)に基づき、全社目標として年平均でCO₂排出量原単位1%の削減を目標とする。

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>○省エネ設備の導入 冷蔵倉庫をナトリウム灯からセラミックメタルハライドランプへ、白熱灯からLEDへ変更予定。また事務所照明は蛍光灯からLEDまたはHf蛍光ランプへ変更予定。 また、新たな省エネ設備の情報収集と導入の検討を行う。</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

太陽光パネルその他再生可能エネルギーに関しては現在模索中。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

東扇島第一低温物流センターに省エネ設備を導入

1. 倉庫、事務所の照明を以下のとおり省エネ化に変更。(平成24年度 70,000kwh/年削減見込み)
 180Wトリウム灯を180W省エネ灯65台、250W水銀灯を150W省エネ灯200台、
 低温用蛍光灯40Wダブルを55WLED53台、移動ラック450W白熱灯を52WLED133台へ更新
2. 1・2・3階事務所空調設備更新工事(平成24年度 20,000kwh/年削減見込み)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

○川崎地区子会社の自社車輛のエコドライブを継続
デジタルタコグラフの機能を使用し、急加速・急減速の有無等エコドライブの指導を日々実施し、燃費向上に取り組むことで、年平均1%以上の燃費向上に取り組む。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 廃棄物の資源化
産業廃棄物はリサイクル可能な業者との契約を継続し、廃棄物の資源化率100%を継続する。
2. 廃棄物の削減
 - 1) 物流品質向上に取り組み、廃棄商品を減少させることで産業廃棄物を削減。
 - 2) 事業系一般廃棄物の分別強化と環境への教育を継続することで廃棄物を削減。
3. エコ運搬の要請（川崎市エコ運搬制度への対応）
荷主及び配送委託先に対し、書面によるエコ運搬の要請を行う。
 - ・エコドライブの実施及びエコドライブを行う旨の表示
 - ・自動車Nox・PM法不適合車の不使用
 - ・低公害、低燃費車の積極的な使用

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,251	t-CO ₂
(調)	3,244	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島第一低温物流センター	川崎市川崎区東扇島 1 7 番地 10	4711	倉庫業	2,378 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	1
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--